

畑日記

秋葉 健太

3月終盤は10度を下回る日が続いて、春よ来い！などと思っていましたが、今年の4月は暖かい、というよりも暑いと感じる日が多く、ともすれば夏と勘違いしてしまうほどの天気が続いていたように思います。おやおや、ここまでの気温は求めてないですよ？！

この時期は毎年のことかとも思いますが、ここにきて一気に畑仕事が忙しくなってきたな、と思います。「畑の仕事は内職と比べればのんびりとしたものですよ」となどと、新人職員には伝えていたのですが、あれは嘘でしたね。いや失敬！失敬！！何が忙しいかと言いますと、来月の作業所祭りや公園の植え込みや大量注文の花の準備をはじめ、北療育センターでの草抜きを今年もお願いされました。他にも、新規のご近所さんのお庭の手入れも一件お願いされましてね、本当に嬉しい話です。数ある事業所から葦の会を選んでくださるんですから。心の中では嬉しい悲鳴が大合唱です。体がもう一つ欲しい！とここまで切実に願っているのは、生まれてこのかた初めてかもしれません。しかし、どう頑張っても私の体は2つにならないので、いろんな人と協力して日々の仕事をこなしていきます。

北療育センターでの草抜きは今年で4年目。今年もやるということ職場会議で皆が耳にした際、「今年もか！」と何人かが意気込みの表情を見せてくれたのは嬉しかったです。草抜きの仕事はもう手慣れたもので、皆さんよくやってくれているのですが、まずは吉村遼さんを紹介したいと思います。といいますのも、彼にとある区画をお願いしたのですが、以前別の人をお願いした時には2時間近くはかかっていたところ、彼は1時間以内に片付けまでも終えていました。その2時間の人も決して仕事は遅くないのですが、集中力を発揮した遼さんはさすがだな、と再認識しました。

畑では、毎日のように大量の花苗の植え替えを行っています。新人さんも入ったので、植え替えについて改めて話しますと、種から育てた芽の葉が4枚以上になったところで直径7.5cmか9cmのポットに植えます。成長につれ、そのポットでは窮屈になるくらい根が回ったところで直径10.5cmのポットに植え替えるという作業です。葦の会では主に9cmと10.5cmのサイズで商品としてお店に出します。その植え替えも成長に合わせて適切に行う必要があります。そこまで育っていない状態で大きいポットに植えると満足に育たないということがあります。こういった場合は、植え替えるほど育った苗は植えかえ、そうでないものは即効性のある肥料を与えたり、ポットサイズはそのままに古い土から新しい土に入れ替えたりして苗の成長を促します。その仕分けも必要な作業なのですが、その作業を久しぶりに畑にやってきた村田さんと一緒に行いました。村田さんは職員・メンバー含む葦の会最年長ですので、気候が穏やかでない



外で仕事をしてもらわないのですが、先日久しぶりに穏やかな日があったので畑に行きました。高齢でも、10~20代の元気さを見せてくれよく動いてくれます。その時は大量のペチュニアの苗の仕分けを行っていたのですが、テキパキと適切に行ってくれたので思っていたよりも早く仕分けが終わり、非常に助かりました。

畑ではまだまだ忙しい時期が続きます。5月はさらに忙しくなるでしょう。忙しさに目が回っても、それぞれの仕事に手抜きがないよう頑張っていきたいと思います。